

### (E) 新しいアイデアを実行する雰囲気

図 17 は「新しいアイデアや手法が提案されたとき、とりあえずやってみるという雰囲気がある」と「仕事は面白い」をクロス集計した結果である。新しいアイデアや手法をとりあえずやってみる雰囲気がある職場では、44.5%の人が仕事は面白いと考えている。他方、そういう雰囲気がない職場では、40.0%の人が仕事は面白くないと回答した。新しいアイデアや手法が提案されたとしても、それが実行されなければアイデア・手法の価値はわからない。とりあえずやってみるという雰囲気があることによって仕事が面白くなることが確認できた。

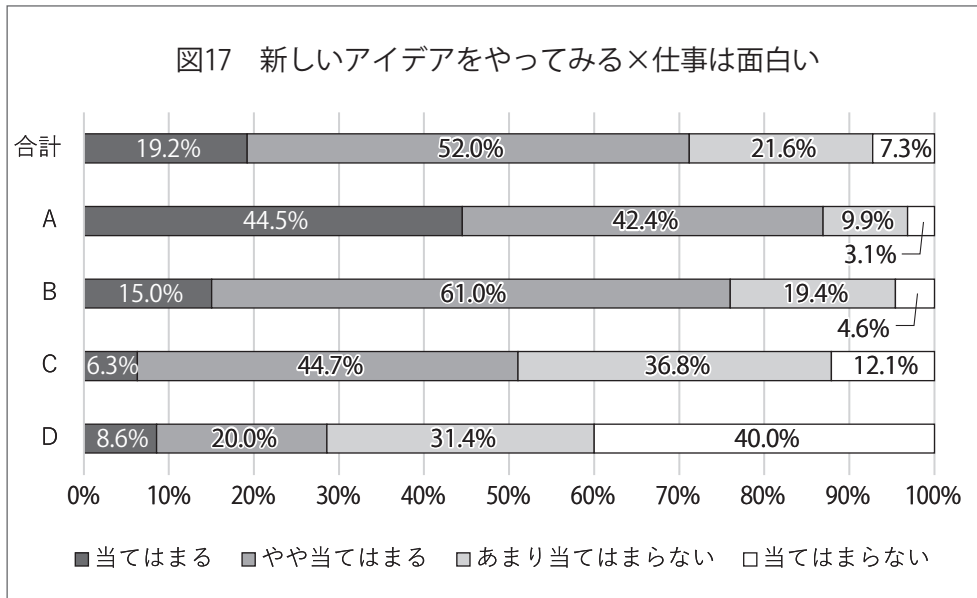


図 18 は、新しいアイデア・手法をとりあえずやってみる雰囲気と、仕事にやりがいを感じていることとの関係を示したものである。そのような雰囲気がある職場では、53.9%の人が仕事にやりがいを感じている。「やや当てはまる」も含めると9割強の人がやりがいがあると答えている。それに対して、そのような雰囲気のない職場で働いている人の45.7%はやりがいを味わうことがないと答えた。新しいアイデア・手法をとりあえずやってみるという職場の雰囲気は、仕事のやりがいに大きな影響を与えていることがわかる。

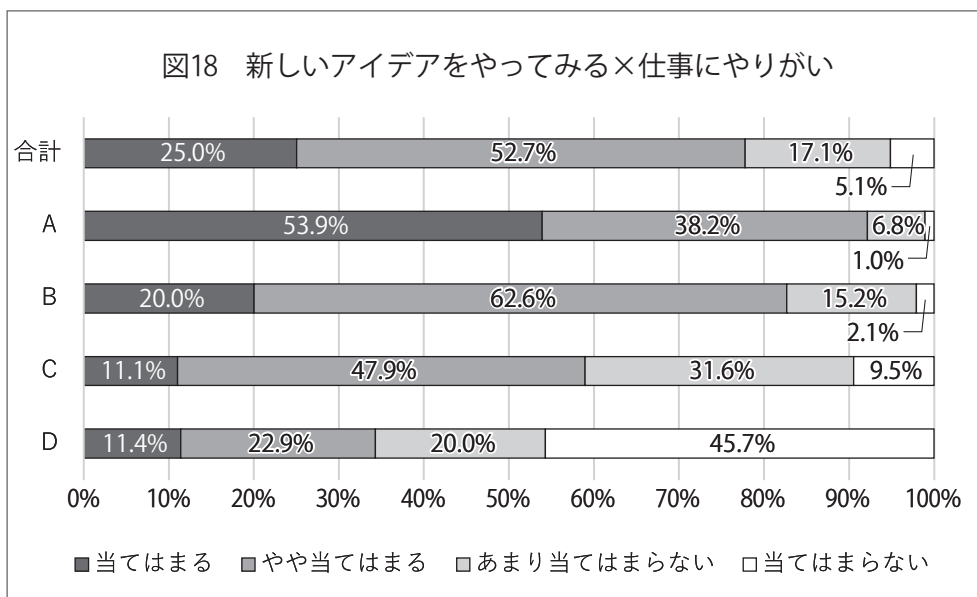


図 19 は、新しいアイデア・手法をとりあえずやってみる雰囲気と、仕事の達成感の関係をまとめたものである。とりあえずやってみる雰囲気がある職場では、53.9%の人が達成感を味わうことができていると回答した。「やや当てはまる」も含めると約9割が達成感を感じながら仕事をしていることになる。他方、そのような雰囲気がない職場では、達成感を味わえない人が34.3%に達している。とりあえずやってみる雰囲気は、仕事の達成感とも深く関わっているとと言える。

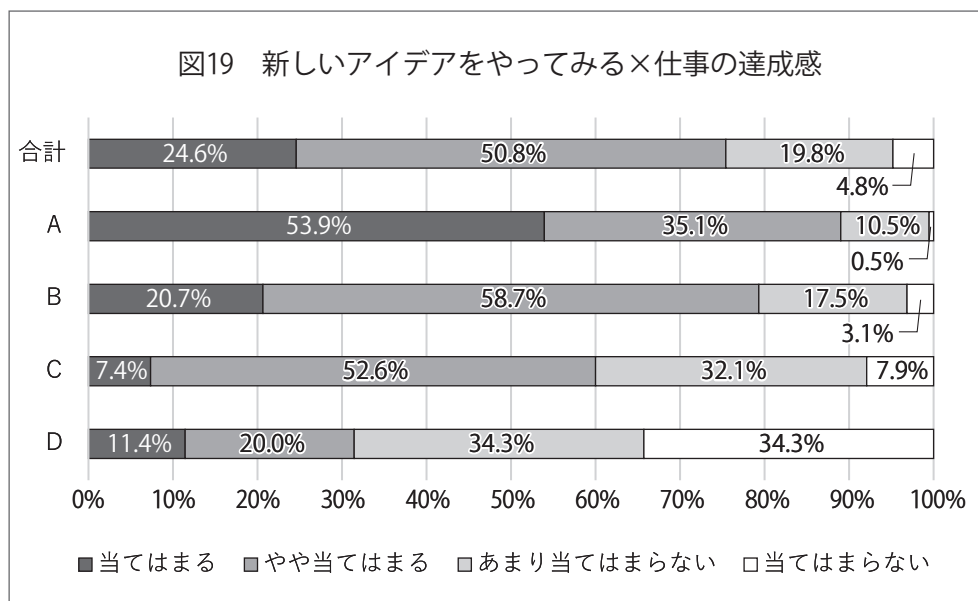


図 20 は、新しいアイデア・手法をとりあえずやってみる雰囲気と、自分の成長を感じられることとの関係を示したものである。とりあえずやってみる雰囲気がある職場では、約6割の人が仕事を通じて自分が成長していると回答した。逆にそのような雰囲気がない職場では、2割の人が成長を実感しておらず、「あまり当てはまらない」も含めると約3分の2の人が成長を感じられていない。仕事を通じて自分が成長していると感じられれば、業務創造にも前向きになると考えられる。とりあえずやってみる雰囲気は重要である。

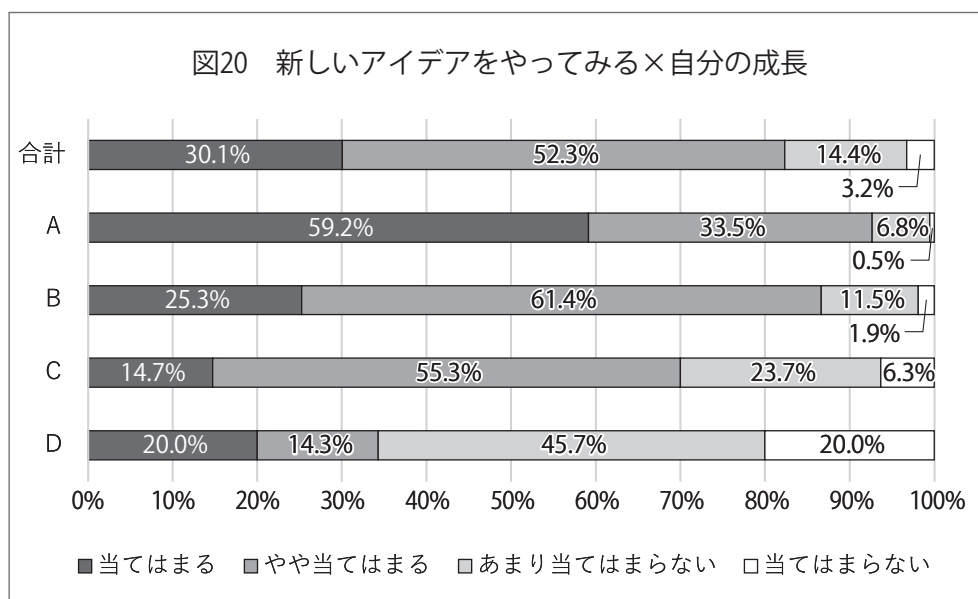
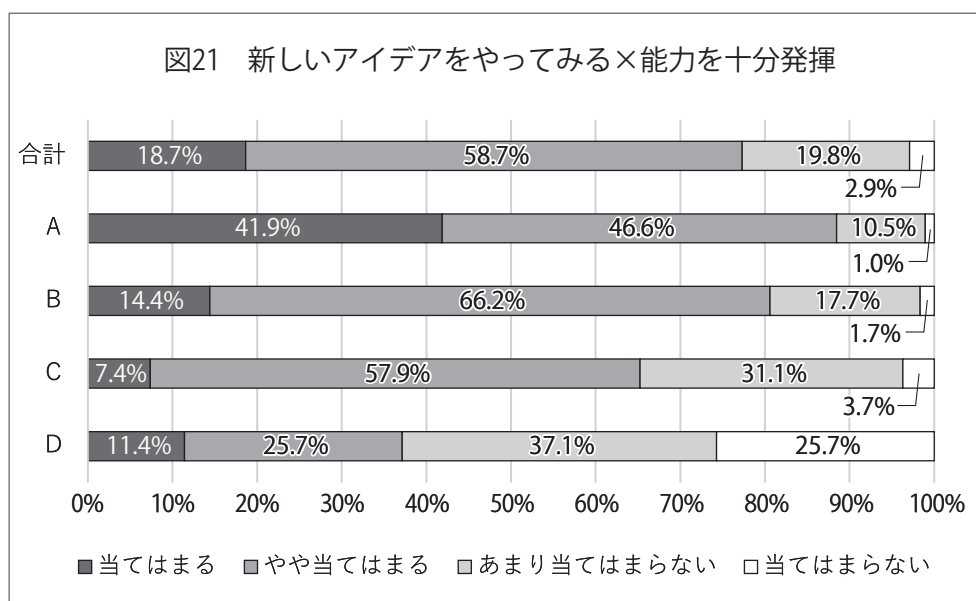


図 21 は、新しいアイデア・手法をとりあえずやってみる雰囲気と、自分の能力を十分発揮して働けていることとの関係を見たものである。そのような雰囲気がある職場では、41.9%の人が能力を十分に発揮できていると回答した。「やや当てはまる」も含めると9割近い回答者が、能力発揮ができていていると考えていることになる。他方、そのような雰囲気がない職場では、6割強が能力を十分に発揮できていないとしている（「当てはまらない」と「あまり当てはまらない」の合計）。新しいアイデア・手法をとりあえずやってみる雰囲気と自分の能力を十分発揮して働けていることの間には、強い相関があることがわかる。



以上をまとめると次のようになる。新しいアイデアや手法をとりあえずやってみる雰囲気がある職場では、仕事は面白い(44.5%)、仕事にやりがいがある(53.9%)、仕事を通じて達成感を味わうことができている(53.9%)、仕事を通じて自分が成長している(59.2%)、自分の能力を十分発揮して働けている(41.9%)となった。新しいことをとりあえずやってみる雰囲気は、業務創造にとってとても貴重であると言える。